



今日のトピック **インド株式市場は軟調な展開（2019年7月後半）**
外国人投資家は課税問題を嫌気

【インド市場の推移】

インド市場	基準日	騰落率または変化幅 (%)			
	7月22日	1週間	1か月	6か月	1年
為替レート					
円/ルピー (円)	1.57	▲0.6	1.5	2.2	▲3.3
ルピー/米ドル (ルピー)	68.92	0.5	▲0.9	▲3.5	0.1
金利 (%)					
政策金利	5.75	0.00	0.00	▲0.75	▲0.50
10年国債利回り	6.42	▲0.01	▲0.44	▲0.89	▲1.37
株式指数					
SENSEX (ポイント)	38,031	▲2.2	▲3.0	4.4	4.2

(注) データは2019年7月22日基準。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

(ポイント) 【インドの株式、通貨】 (円/ルピー)



(注) データは2018年7月22日～2019年7月22日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ポイント1 株式市場はジリ安の展開

- 7月のインド株式市場は軟調な展開となっています。7月5日に発表された政府予算案はインフラ投資の規模などが市場の期待に届かなかったことに加え、インド政府が、上場企業の浮動株を10%増やすことや、富裕層や外国人の有価証券投資家に対する課税などの方針を発表したことが、株式市場の重石となりました。インドの代表的な株式指数のSENSEXは、月初に過去最高値圏にあったものの、予算案発表後は売りが優勢となりました。好業績を背景にIT銘柄が急伸し反発する局面もありましたが、その後じりじりと安値を切り下げています。SENSEX指数の7月のパフォーマンスを見ると、足元で全体では▲3%を超える下落となっていますが、IT銘柄が7%を超える上昇となるなど銘柄間格差が大きくなっています。

ポイント2 外国人投資家は課税問題を嫌気

- インド政府が5日の予算案で発表した、外国人の有価証券投資家に対する課税方針などを受けて、外国人投資家からのインド株の売りが続いています。インド証券取引所によれば、外国人のインド株売り越しは予算案発表後の週明けの7月8日以降7月19日まで10営業日連続となり、合計で8億米ドルを超えました。相場が高値圏にあるだけに外国人投資家からの利食い売りは続く可能性があります。

今後の展開 企業の決算発表に注目

- 4-6月期の企業決算の発表がピークを迎えています。IT銘柄のように好業績で急騰するものがある一方、貸し出しの伸び鈍化などで急落する銀行株も出ており、決算動向が注目されます。ただ、4-6月期は景気が力強さを欠いていたため業績は伸び悩むとの見方が出ていました。7-9月期以降は、景気と共に業績も改善すると見込まれます。

ここもチェック! 2019年7月10日 **インド株式市場はやや軟調（2019年7月前半）**
2019年6月26日 **インド株式市場は小反落（2019年6月後半）**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。